

問1 生産者が作った商品が、卸売業者や小売業者などの段階を経て、最終的に消費者に届くまでの経済的な一連の流れを何といいますか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 交通 | 2. 消費 | 3. 流通 | 4. 販売 |
|-------|-------|-------|-------|

問2 ある複数の企業が、本来なら競争すべき商品の価格について、事前に話し合って一定の金額以下に下げないように申し合わせる「カルテル」を行いました。このような「不公正な取引」に対し、公正取引委員会が介入し、調査や是正命令を行う主な目的は何ですか。 (2022年 広島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------|---|-----------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 特定の企業の倒産を防ぎ、市場全体の雇用を安定させるため | 2. 企業の生産コストを一定に保つことで、市場での供給量をコントロールするため | 3. 自由な価格競争を促進し、消費者の利益が損なわれるのを防ぐため | 4. 輸出額を増やすために、国内市場の価格を調整して国際競争力を高めるため |
|--------------------------------|---|-----------------------------------|---------------------------------------|

問3 為替相場の変動において、1ドル当たりの円の価値が1985年の約238円から、1995年の約94円へと推移したような状況を何と呼び、どのような影響をもたらしますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 北海道公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 円高と呼ばれ、海外から輸入する食料品や原材料の価格が上昇するため、国内の物価を押し上げる要因となる。 | 2. 円安と呼ばれ、日本から輸出する製品の価格が海外で安くなるため、輸出産業が活性化する要因となる。 | 3. 円高と呼ばれ、日本人が海外旅行に行く際の費用負担が軽くなるため、海外旅行者数が増加する要因となる。 | 4. 円安と呼ばれ、日本を訪れる外国人観光客にとって滞在費が安く感じられるため、訪日外国人人数が増加する要因となる。 |
|---|--|--|--|

問4 ある商品の価格が150円のと看、需要量と供給量がともに1500個で一致していたとします。その後、生産技術の向上によって同じ価格でもより多く生産できるようになり、100円の時の供給量が1000個から2000個に増加しました。同時に、100円の時の需要量が2000個であった場合、技術革新後の新たな均衡価格はどうなりますか。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 250円 | 2. 200円 | 3. 100円 | 4. 150円 |
|---------|---------|---------|---------|

問5 外国為替市場において、1ドルの価格が100円から150円に変動した場合、日本円の状態と価値の変化について説明したものととして最も適切なものはどれですか。 (2024年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 円安（ドル高）の状態であり、ドルなどの他国通貨に対して円の価値が相対的に下がっている。 | 2. 円高（ドル安）の状態であり、ドルなどの他国通貨に対して円の価値が相対的に上がっている。 | 3. 円安（ドル高）の状態であり、ドルなどの他国通貨に対して円の価値が相対的に上がっている。 | 4. 円高（ドル安）の状態であり、ドルなどの他国通貨に対して円の価値が相対的に下がっている。 |
|--|--|--|--|

問6 ある日本の自動車メーカーが1台240万円の車をアメリカに輸出している。為替相場が1ドル＝120円から、円高が進んで1ドル＝100円になった場合、この自動車の現地での販売価格（ドル建て）の変化として正しいものはどれか。なお、日本国内での価格は変わらないものとする。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------|---------------------|------------------------|----------------------|
| 1. 2万4000ドルから2万ドルに下落する | 2. 2万ドルから200万円に変化する | 3. 2万ドルから2万4000ドルに上昇する | 4. 2万ドルから2万ドルに据え置かれる |
|------------------------|---------------------|------------------------|----------------------|

問7 日本において実施された「規制緩和」の具体的な事例として、適切なものはどれですか。 (2019年 香川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 環境保護を目的として、工場からの排ガスに含まれる有害物質の濃度制限を強化した。 | 2. 電力の小売全面自由化により、家庭でも契約する電力会社を自由に選べるようになった。 | 3. 食の安全を確保するために、輸入される農産物の残留農薬検査の項目を増やした。 | 4. 労働者の最低生活を保障するために、国が地域ごとに最低賃金の下限を決定した。 |
|--|---|--|--|

問8 現代の社会において、法律や条例による経済活動への制限を廃止したり緩めたりすることで、民間の自由な経済活動や競争を促し、経済を活性化させようとする取り組みを何と呼ぶか。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|------------|---------|-----------|
| 1. 累進課税制度 | 2. 公共事業の拡大 | 3. 規制緩和 | 4. 構造改革特区 |
|-----------|------------|---------|-----------|

問9 企業と家計の間の経済的な循環において、企業から家計へと流れる「商品」と、それに対する家計から企業への動きを説明した内容として最も適切なものはどれですか。 (2023年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|--|
| 1. 企業は家計に資金を投資し、家計はそれを用いて商品を生産する。 | 2. 企業は家計に租税を支払い、家計はそれを利用して公共施設を建設する。 | 3. 企業は家計に労働力を提供し、家計はその対価として賃金を支払う。 | 4. 企業は家計にモノやサービスを提供し、家計はその対価として代金を支払う。 |
|-----------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|--|

問10 需要が供給を下回ることなどが原因で、物価が下がり続け、相対的に貨幣の価値が上がる経済状態を何というか。 (2017年 北海道公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------|------------|--------------|-------------|
| 1. インフレーション | 2. デフレーション | 3. スタグフレーション | 4. デノミネーション |
|-------------|------------|--------------|-------------|

問11 2009年に、それまで複数の省庁に分かれていた消費者行政を一元化するために設置された行政機関は、消費者が自ら情報を集めて適切に行動することで、どのような社会の実現を目指していますか。その機関名と目指す姿について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 「公正取引委員会」が、消費者が主役となる社会を目指し、独占禁止法の運用を通じて市場の活性化を図る。 | 2. 「消費者庁」が、消費者が主役となる社会を目指し、不正な取引や製品等の事故といったトラブルを減少させる。 | 3. 「消費者庁」が、企業が主役となる社会を目指し、製品開発に関する規制を緩和することで経済成長を促進する。 | 4. 「警察庁」が、消費者が主役となる社会を目指し、サイバー犯罪の取り締まりを強化することで消費生活の安全を守る。 |
|--|--|--|---|

問12 母親と子供が買い物中に「1年前と比べて、どのお店でも商品の値段がずっと上がり続けていて、同じ予算では買えるものが少なくなった」と会話をしている場面を想定します。このような「需要と供給のバランス」によって物価が継続的に上昇する現象が経済に与える影響として、最も適切なものはどれか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------|-----------------------|------------------------|-------------------------|
| 1. 貨幣（お金）の価値が相対的に上がる。 | 2. 貨幣（お金）の価値が相対的に下がる。 | 3. 供給量が需要を大幅に上回るようになる。 | 4. 消費者の購買意欲が際限なく高まり続ける。 |
|-----------------------|-----------------------|------------------------|-------------------------|